

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1・2年前期	1・2	2	選択
担当教員			
林 章浩			
添付ファイル			
講義概要	情報が氾濫する現代社会において、データサイエンスの重要性が認識されている。データマイニングは、データサイエンスの「データの分析」と「モデル化」の工程のための解析手法である。本講座では簡単にデータマイニングの歴史に触れてから、定量的分析を行うデータマイニング、定性的な分析のためのテキストマイニングを説明し、Excel, KH-Coder, Rなどのツールを用いて実際のデータを用いた演習を実施する。		
授業計画	1回目 ビッグデータとデータマイニング／テキストマイニング AL①対話型授業 2回目 テキストマイニングの考え方 AL①対話型授業 3回目 KH-Coderによるテキストマイニング 漱石の「こころ」 AL①対話型授業 KH-Coderの演習 4回目 KH Coder を用いた応用事例 AL①対話型授業 KH-Coderの演習 5回目 KH Coder「データを分析しておいて」と言われたら！ AL①対話型授業 KH-Coderの演習 6回目 Excelによるデータ解析とははじめ AL①対話型授業 Excelのアドインインストール 7回目 Excel ピボット分析 AL①対話型授業 Excelのピボット演習 8回目 Excel アンケートの設計 AL①対話型授業 アンケート実施の説明 9回目 Excel コンジョイント分析 AL①対話型授業 コンジョイント分析を演習 10回目 Excel 主成分分析 AL①対話型授業 主成分分析の演習 11回目 Rの導入とコマンド AL①対話型授業 Rのインストール 12回目 Rを用いたQC7つ道具の実装 AL①対話型授業 ExcelやEでのQC 7 つ道具演習 13回目 Rを用いた決定木 AL①対話型授業 Rインストール 14回目 Rを用いたクラスター分析 AL①対話型授業 クラスター分析の演習 15回目 財務諸表によるビジネスデータ分析 座学		
授業形態	毎回授業の前半でスライドを説明し、後半で練習をするものとする。したがって必ずノートPCを持参すること。各自のノートPCにインストールしたアプリケーションで演習を行う アクティブラーニング：①14回		
達成目標	1) データマイニング, テキストマイニングの考え方を理解する。 2) KH Coder, Excel, Rを用いた分析方法を習得する 3) 対応分析と統計解析について理解する 4) 実際のMS-Excelなどのツールを用いてデータ分析ができるようになる		
評価方法・フィードバック	クラス発表（30）、クラスディスカッション貢献度（20）、最終発表（50）。原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	「秀」：90点以上，「優」：80～89点，「良」：70～79点，「可」：60～69点，「不可」：59点以下 不可:授業で取り上げた内容に関する知識が習得できていない。		
教科書・参考書	特に指定しない		
履修条件	2/3以上出席すること		
履修上の注意	積極的に演習に参加し、毎回その結果を持ち帰ること		

準備学習と課題の内容	・本講義ではテキストを指定する代わりに、教科書に相当する内容をレジюмеとして配布する。毎週1時間程度の時間をかけて、配布したレジюмеを必ず読み返しておくこと ・毎日、日経新聞の左面の記事を全て読むことを勧める。 ・本講義ではテキストを指定する代わりに、教科書に相当する内容をレジюмеとして配布する。毎週1時間程度の時間をかけて、配布したレジюмеを必ず読み返しておくこと
ディプロマポリシーとの関連割合 (必須)	知識・理解:30%, 思考・判断:10%, 関心・意欲:10%, 態度:20%, 技能・表現:30%